

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

ラベルニュース

No473



令和 7 年 5 月号

東京都ラベル印刷協同組合
〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4編集:広報・情報システム化委員会
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

価格交渉アドバイザーによる

価格交渉支援(無料)の活用を

企業の現状に合わせ個別にサポート

中小企業振興公社では、相次ぐ原材料の値上げに対し、発注者に対し価格交渉をしたいが、どのように始めたらよいかわからないなど、という企業に「価格交渉アドバイザー」による価格交渉支援(無料)を行っています。

① 原材料、燃料費や人件費等の上昇について考慮した取引価格を設定するよう、発注者と協議したいが、どのように始めたら良いのかが分からない。

② 取引先に、仕入れ価格が高騰している客観的な変動データを提示したいが、どのようなデータを収集すれば良いのかが分からない。

※ご相談は意思決定のための助言です。最終的な意思決定・行動等は企業様の自己責任にて行ってください。

※価格交渉アドバイザーの業務は、アドバイザー

価格交渉の進め方(全体像)



※中小企業庁の「中小企業・小規模企業者のための価格交渉ノウハウ・ハンドブック」を参考に、当公社の価格交渉アドバイザーが実際の支援で得たノウハウ等に基づいて作成しました。

務のみであり、資料作成の代行、価格交渉における代行や同席等はできませんので、あらかじめご承知おきください。

労務費の転嫁の交渉実態として、価格転嫁を認めてもらえたとする声がある一方で、発注者との今後の取引関係に悪影響(転嫁や失注など)が及ぶおそれがある等の理由で労務費の価

お問合せ、お申し込みは左記まで。
東京都中小企業振興公社
☎ 三二五 一七八八二
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/>

四月度理事会議事

■日時・四月一〇日(木)

■場所・組合会議室

■出席者・北島憲高 大澤

雅純 本間敏道 保坂知彦

清宮和夫

■欠席者・藤井雅一 平山

愛二郎 前田智信

【議題】

■通常総会について

①五月二十三日の第五十九回通常総会についても本間専務理事より当日の進行について説明があった。議案の審議については例年通りであるが、今回は役員改選の年になっているため、役員改選の手順について説明があり、新理事と新監事を懇親会の席上で北島理事長から発表することも了承された。

②総会の司会については前田理事が、懇親会の司会

は保坂理事が、乾杯の音頭は大澤副理事長が担当する

ことで了承された。今回か

ら懇親会の参加費は事前振

り込みにしたので、受付も

参加者の名札を用意するだ

報告があった。

③臨時総会については、

三月二十七日に開催され、新監事に日野秀子氏を選出し、すでに東京都から役員改選届が承認されたと報告があった。

■組合研修旅行について

①六月七日、八日の組合研修旅行について大澤福利

厚生委員長より、熱海貫一

ホテルにて開催、研修につ

いては未定、ゴルフは西熱

海ゴルフクラブで開催する

が来週には案内状を出す予

定と報告があり了承された。

■ラベルフェスタについて

①ラベルフェスタは八

月二日(土)に都立産業会

館浜松町館での開催が決ま

っているが、すでに出展案

内状と申込書が完成し、す

でに協賛会などに送付済み

で正札、神奈川、協賛会と

も今後さらに協議していく

と報告があった。

■ラベルコンテスト勉強会

について

①六月十四日(土)に三

條機械製作所で開催のラベ

ルコンテストの勉強会につ

いて北島理事長より報告が

あり、主催は正札シル組

合だが、こちらにも声を掛

けていただいたので、規定

課題平圧部門に関する質

問・注意点について北島理

事長が当日担当することに

なったと報告があり了承さ

れた。

■その他

①連合会上納金について

本間専務理事より組合

決算について組合員の大福

な減少、組合取扱商品の売

り上げ減少、組合員名簿や

展示会の収入が無くなった

ことなどから、かなり厳し

い状態が続いており、他協

組も同じ状況であるため、

連合会への上納金を再検討

してほしいと、来週の連合

会の理事会で提案してほし

いと意見が出され、各協組

あつての連合会なのだから

ぜひ検討してほしいと賛同

の声が多かった。

またオペレーター不足

で悩んでいる組合員が多い

という報告があり、これは

オペレーターの高齢化が進

み、今後も増える問題であ

るので、今後の検討課題と

したいと報告があった。

近代社G P認定工場に

全国で四四四工場に

東支部の近代社(渡部信

博社長)は、かねてよりG

P認定工場への申請を行っ

ていたが、三月二十五日に

開催された日印産連の第七

八回グリーンプリンティング

(G P)認定委員会にて認定

されました。

今回は新規が五工場、更新

が二十四工場となり、これ

で全国で四四四工場となり

ました。

昭レPLUS(株)

社長に遠藤隆司氏が

既報の通り四月一日よ

りプラスチック工業を吸収合

併して発足した「昭レPL

US」は、このほど開催し

た取締役会に於いて、左記

のとおり役員が決定した。

■代表取締役会長・

佐々木恒介

■取締役社長・遠藤隆

司(前専務取締役)

■専務取締役・東京支

店長・大澤雅純(前常務取

締役)

終了 午後七時



寄稿 No2

「組合にはただ、ただ感謝です」

コロナと先代社長の死乗り越えて

(株)日本ラベル 平山愛二郎

私平山愛二郎は、この度株式会社日本ラベルを退社する事となりました。この四年間ラベル組合の皆様方、理事長、専務理事、理事の方々には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

私が四年前ラベル組合に参加させていただく事になったのは、先代平山良一社長がコロナによりわずか半月で亡くなってしまったからです。

当時私は引退を準備している最中で、あと数年で退社というスケジュールを組み立ており共同代表を降りたばかりでした。

正に青天の霹靂ともいふべきことでした。当時コロナは猛威を振るい世の中は人の動きは全くなく、先代が入院をしているのにお見舞いもいけないという状況だったのは今でも覚えております。

会社の売上も下降の一途を下っており、このままでは会社自体が危うくなるのではないかとという心配の中で社長業のスタートでした。

社長就任までの私は会社の経営は兄である先代社長に任せ、私は営業を統括し退職を決意してからは工場の面倒を見ておりました。社長に就任し一番最初に考えたことは社長として一

体何をやるのだろうでした。もちろん業績が低迷しているコロナ禍の中では売上を維持し会社を継続しなければなりません。

弊社は先代の意向で休業をほとんどせずに運営を続けていた為に業績の低迷とともにかなり苦しい状況に陥っており、ここをどう乗り切るかが直近の課題として重くのしかかってきておりました。

原価の削減、不採算ユニットとの交渉等できるものは全て行っていました。本当に苦しい時代だったと思います。皆様方の会社に置かれましては大なり小なりコロナの影響は受けたと思っています。

その後社長業の勉強の為に中小企業同友会に参加をさせて頂いたとき、社長業の勉強会等多くの学びの場を得られたことは私にとって非常に有益でした。

また東京都ラベル印刷協同組合の本間専務理事より、前社長が理事の任期途中なのでそのまま引き継いだらどうですかとの言葉に

はよかったと思っています。業界の状況、材料値上の動き、各社さんが何を得意として事業を行っているか等、今まで私が知らなかったことばかりでした。

また組合活動は何を目標として活動しているかが分からず「前社長はどのような思いで参加をしていたのだろう」といつも逡巡しながら参加をさせて頂いてきました。

コロナ禍においては製品の値上げを組合として出すなど、一社一社ではできないことを組合で力を合わせて目標を遂行していく姿を見られたことは自分にとって組合活動を知る良い機会であったと思います。

今後も皆様方が組合活動にご協力をいただき、益々発展していくことを願ってやみません。

組合と皆様方の会社があります。ますます発展していくことを祈念いたしております。四年間という短い間でしたが、本当に有難うございました。

「ラベルフェスタ 2025」 8月2日(土)に開催決定 現在出展社募集中！

産業貿易センター浜松町館
(写真)

■ 展示場広さ・約七六五㎡(三階北側半室使用)、天井高五M、床耐荷重一t/㎡

■ 出展社数(目標)・二五〇三〇社

■ 出展料 協賛会加入会社(二小間 五万円) 協賛会非加入会社(一小間 八万円) 組合員(一小間 三万円)

■ 来場者数(目標)・三〇〇名超

■ 出展内容・協賛会出展、組合員出展、勉強会・講演会、ラベルコンテスト展示などを予定。(終了後に懇親会を開催します。)

■ セミナー・B t o C 向けの商品開発セミナー セメントプロデュースデザイン 金谷 勉様

・九州シール印刷協同組合の工場長会の紹介



リンテック株式会社は、四月一日に板橋区の本社に於いて入社式を行いました。今年には本社採用五十二人(本社入社式に出席)、工場採用は三十九人、計九十一人でした。
入社式で服部真社長は「予測不能、不確実性の霧に包まれた年と言われている。」

リンテック入社式

新社員九十一人が



前回の「ラベルフェスタ 2024」風景

る。そういう年だからこそ、瞬時の判断力や修正力、常識にとらわれずに世界を直視することが必要となる。想定外と言い訳せず、先が読めないことにも備えることが必要である。瞬間、瞬間で起きる事象に会社として組織的に対応する力を強化するためには、社内での情報共有が迅速に行われる風通しの良さが大事」などと訴えました。

同社は二〇三〇年三ヶ月を最終年度とする長期ビジョン 略称 : LSV 2030」を掲げており、当日はそのマイルストーンとなる三か年中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」の二年目のスタートの日となっていた。



■ 開催目的・組合員・経営者・従業員共に学び、各社各員の成長を図る。協賛会・最新の資機材情報を提供し、互いの売り上げに貢献する。
■ 開催日時・二〇二五年八月二日(土) 午前十時〜午後五時(予定)
■ 開催場所・東京都立

■「未病」とは何か

「未病」という言葉を聞いたことがありますか。健康状態は「健康または病気」の二つに分けられるのではなく、健康から病気までがグラデーションのように連続していると考えられています。未病とは、

No214 健康がいちばん!

「未病」は病気と健康の間？ 定期検診を受けることが大事

健康でも病気でもなく健康と病気の間にある状態です。具体的には、自覚症状はないけれども検査で異常が見つかる場合や、自覚症状はあるものの検査で異常が見つからない状態のことを指します。

■日本の状況は

日本の人口ピラミッドは、一九七〇年代にきれいなピラミッドだったところから、二〇五〇年には完全に逆転したピラミッドになっていくといわれています。医療の発達により寿命が伸びていることから、超高齢社会になっているのです。

日本は超高齢社会となり、いま働いている現役世代よりも治療を受ける方の割合が多くなることで、今後医療のひっ迫が進行していくことが予想されます。あらかじめ未病に注目して対策を取っておくことで、

健康でいられる期間が長くなり、出ていく支出も最低限で済むようになるでしょう。そのため、病気になる前に予防をしていくことが大切であり、いま「未病」が注目されています。

■生活習慣を整えることを意識しましょう

未病や病気になる前から、健康的な生活習慣を意識していくことが大切です。生活リズムを整え、朝一番に太陽の光を浴び、決めた

時間に食事をとり、決めた時間に就寝をして、毎日同じ睡眠時間を取るようになりましょう。また定期的な有酸素運動を行い、ストレスは溜めこまないように解消して、食事は栄養バランスを整えることを目指しましょう。

自覚症状がなかったとしても、検査で異常値が見つかることもあり、健診を受けることが未病・病気の早期発見につながります。勤めている職場の定期健診や、自身で人間ドックを定期的に受けましょう。

■未病の疑いがある場合

自覚症状が出やすい方は、普段から自分の身体に意識を向けていきましょう。だるい、やる気がでない、食欲がない、身体が冷えやすい、なかなか寝付けない、熟睡感がない、めまいがある、頭痛がする、などはありませんか。具体的な原因はなくともこのような症状が出る場合には、これから体調が崩れるサインである可能性があります。

まずは休息をとり、生活

■期待される今後の対策

東京大学の研究チームで「動的ネットワークバイオマーカー」というものが発見され、「未病」であることが検査によって数値化することができるとがわかりました。また研究途中ではありますが、病気になる前にとある指定された薬を飲むことによって、病気の発症を防ぐものもあるということがわかってきています。今後は、未病の状態から病気にならないための薬を飲むようになるかもしれません。

薬は病気を治療するためのものと認識することが常識でしたが、今後は未病であってもその治療のために薬が処方されることもあるでしょう。未病の早期治療に対しても、医師の指示のもとに内服をするようにしてください。

【参考資料】

<https://todokusuri.com/>

リントック（東京都文京区小石川一・一・一 ☎〇三・三八六八・七七六〇）は、繰り返し貼って剥がせる再剥離タイプのホットメルト粘着剤を新たに開発し、同粘着剤を使用したラベル素材「RE CHILL（リチル）」をこのほど発売しました。

ホットメルト接着剤とは、熱で溶かしながら塗工する常温タイプの粘着剤のこと。五度までの低温環境下でも

貼付可能でまた繰り返し貼って剥がせる再剥離性・再貼付性を有したホットメルト粘着剤を開発。同製品は、粘着剤・表面基材ともに食品衛生法のポジティブリストに収載された物質で構成されており、粘着剤は米国食品医薬品局（FDA）の食品規格にも準拠しています。

また、一般のラベル素材では貼り付きにくい結露面や油面にも貼付可能です。使用後は容器などから剥がしやすいため、リサイクル促進にもつながります。

主な特長としては、塗工時に有機溶剤を使用せず、また乾燥工程が不要なことから製造時のCO₂排出量が少ないことが特徴です。

一般のラベル素材では貼り付きにくい結露面や油面にも貼付可能です。使用後は容器などから剥がしやすいためリサイクル促進にもつながります。

品番・トポ 80UV RE CHILL 6K

表面機材・ポリプロピレン系合成紙

粘着剤・再剥離・再貼付

【ホットメルトタイプ】
【バイオマス原料使用】

用途・日用品や化粧品、工業用品の表示ラベル、冷蔵・冷凍食品や油分を含む食品包材の封止めラベルなど。

詳細は同社ホームページ。
<https://www.lintec>

環境負荷の少ないホットメルト粘着剤 繰り返し貼って剥がせる ラベル素材「RE CHILL」発売

